



編集後記

昨年は立教大学の新型コロナウイルス感染症対策に伴い、一般見学の休止や入場制限を行いました。その影響を受け、二〇二〇年一月から十二月までに開館した日数は五十一日、来館者数は五五四人でした。

種々の制約が多かった年ではありますが、乱歩邸グッズを刷新することができました。乱歩の蔵書印が刺繍された赤、青、黄色のハンドタオルと、クリアファイルの二種類です。ハンドタオルの「乱歩蔵」という印は、エドガー・アラン・ポーなどの洋書に押されており、乱歩が「貴重書」として選別した証です。クリアファイルには、昭和九年、乱歩が池袋に引っ越してきた当時の間取り図と、一つ目小僧や猫又などおなじみの妖怪が描かれた乱歩旧蔵の『百種怪談妖物双六』が印刷されています。いずれも立教オンラインショップで取り扱っています。

また、名古屋栄交差点西南角地に、インド御影石を使用した江戸川乱歩旧居跡記念碑ができました。乱歩は、三歳から十八歳まで名古屋で過ごし、現愛知県立瑞陵高校を卒業、栄に住んでいました。当センターも呼びかけのお手伝いをしたクラウドファンディング等によって建てられました。わずかに右を向いているのは、乱歩旧宅の実際の方向を見ているからです。

(N)

立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

センター通信 第十五号

二〇二二年三月三十日 発行

編集・発行 立教大学江戸川乱歩記念

大衆文化研究センター

〒一七一八五〇一

東京都豊島区西池袋三―三四―一

電話番号

(FAX兼) 〇三―三九八五―四六四一

rampo@rikkyo.ac.jp

公開日 水曜・金曜(祝日は除く)・臨時公開日

(十時三十分～十六時)